



平成 28 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 27 年 10 月 27 日

上場会社名 信越化学工業株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 4063

URL <http://www.shinetsu.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 森 俊三

問合せ先責任者(役職名) 取締役経理部長(氏名) 笠原 俊幸 TEL (03) 3246 - 5051

四半期報告書提出予定日 平成 27 年 11 月 12 日 配当支払開始予定日 平成 27 年 11 月 18 日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有(証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成 28 年 3 月期第 2 四半期の連結業績(平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28 年 3 月期第 2 四半期	645,836	7.0	109,816	12.5	113,020	11.7	76,633	13.4
27 年 3 月期第 2 四半期	603,727	5.5	97,614	5.8	101,141	3.9	67,589	5.9

(注)包括利益 28 年 3 月期第 2 四半期 73,805 百万円(62.4%) 27 年 3 月期第 2 四半期 45,447 百万円(△67.4%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28 年 3 月期第 2 四半期	179.93	179.91
27 年 3 月期第 2 四半期	158.77	158.73

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28 年 3 月期第 2 四半期	2,491,071	2,065,551	80.8	4,723.65
27 年 3 月期	2,452,306	2,012,711	79.9	4,602.80

(参考)自己資本 28 年 3 月期第 2 四半期 2,011,863 百万円 27 年 3 月期 1,960,329 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27 年 3 月期	—	50.00	—	50.00	100.00
28 年 3 月期	—	55.00			
28 年 3 月期(予想)			—	55.00	110.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 28 年 3 月期の連結業績予想(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1 株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	1,270,000	1.2	197,000	6.3	210,000	6.0	140,000	8.9	328.71

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当資料に記載の業績見通し等の将来に関する記述は、現在入手している情報による判断及び仮定に基づいた記述であり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績等は、様々な要素によりこれら業績見通し等とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績等に影響を与え得る重要な要素には、当社及び当社グループ会社の事業領域をとりまく経済情勢、市場の動向、対米ドルをはじめとする円の為替レートなどが含まれます。ただし、業績等に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではありません。

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 4 ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28 年 3 月期 2 Q	432, 106, 693 株
	27 年 3 月期	432, 106, 693 株
② 期末自己株式数	28 年 3 月期 2 Q	6, 193, 722 株
	27 年 3 月期	6, 207, 027 株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28 年 3 月期 2 Q	425, 908, 128 株
	27 年 3 月期 2 Q	425, 722, 688 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は実施中でありませ

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報)	P. 10

(補足資料) 四半期業績の推移

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、米国では景気の回復が続きましたが、欧州では力強さを欠く展開となり、アジア地域などの新興国では伸び悩みの傾向が見られました。日本経済は、雇用情勢の改善や個人消費に持ち直しの兆しが見られるなど、緩やかな回復基調をたどりました。

このような状況のもとで、当社グループは、世界の幅広い顧客への積極的な販売や海外製造拠点の拡充を推し進めるとともに、技術や品質の向上にも鋭意取り組んでまいりました。また、特長ある製品の開発や原材料の安定的な確保にも注力いたしました。

当第2四半期連結累計期間の業績といたしましては、売上高は、前年同期に比べ7.0% (421億9百万円) 増加し、6,458億3千6百万円となりました。営業利益は、前年同期に比べ12.5% (122億2百万円) 増加し、1,098億1千6百万円となり、経常利益も、前年同期に比べ11.7% (118億7千9百万円) 増加し、1,130億2千万円となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に比べ13.4% (90億4千4百万円) 増加し、766億3千3百万円となりました。

塩ビ・化成品事業

塩化ビニルは、米国シンテック社が、住宅市場に回復が見られた米国内に加え、世界中の顧客への積極的な販売に努めたことから、出荷は堅調に推移しました。オランダのシンエツPVC社は、昨年度後半に原料調達先で生じた設備トラブルの影響を受け、上半期もその影響が続きました。国内事業は、輸出が伸長したものの、国内住宅関連需要が振るいませんでした。

この結果、当セグメントの売上高は、前年同期に比べ3.6% (76億3百万円) 増加し2,206億6百万円となり、営業利益は、前年同期に比べ16.4% (47億8百万円) 減少し239億2千9百万円となりました。

シリコーン事業

シリコーンは、国内では、自動車、電気、電子向けの一部で鈍化が見られましたが、化粧品向けをはじめ幅広い分野で出荷が堅調でした。海外では、欧米のほか東南アジア向けの高機能製品が好調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は、前年同期に比べ10.5% (90億4千4百万円) 増加し951億3千2百万円となり、営業利益は、前年同期に比べ12.3% (22億4千6百万円) 増加し205億5千7百万円となりました。

機能性化学品事業

セルロース誘導体は、国内では、建材用製品に回復が見られ、医薬用製品の出荷も堅調でした。ドイツのSEタイロース社は、塗料用製品を中心に順調に推移しました。豪州シムコア社の金属珪素は、市況の上昇もあり好調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は、前年同期に比べ10.6% (57億2百万円) 増加し597億4千7百万円となり、営業利益は、前年同期に比べ35.1% (25億7千1百万円) 増加し98億9千2百万円となりました。

半導体シリコン事業

半導体シリコンは、上半期の後半にスマートフォン需要の減速に伴うロジックデバイスの在庫調整の影響を受けましたが、メモリデバイス向けが好調に推移したこともあり、出荷は総じて堅調でした。

この結果、当セグメントの売上高は、前年同期に比べ13.2% (146億7千4百万円) 増加し1,261億円となり、営業利益は、前年同期に比べ66.1% (107億5千6百万円) 増加し270億3千2百万円となりました。

電子・機能材料事業

希土類磁石は、ハイブリッド車をはじめとする自動車向けが堅調に推移しましたが、産業機器向けやエアコン向けが振るいませんでした。フォトレジスト製品は、半導体デバイス微細化の進展もあり、ArFレジストや多層レジスト材料が底堅く推移しました。LED用パッケージ材料は堅調に推移し、光ファイバー用プリフォームも好調な出荷が続きました。

この結果、当セグメントの売上高は、前年同期に比べ4.4% (39億5千9百万円) 増加し948億5千5百万円となり、営業利益は、前年同期に比べ3.8% (9億2千6百万円) 増加し250億7千2百万円となりました。

その他関連事業

信越ポリマー社の自動車用入力デバイスや半導体ウエハー関連容器が堅調に推移しました。また、信越エンジニアリング社のエンジニアリング事業も底堅く推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は、前年同期に比べ2.3% (11億2千6百万円) 増加し493億9千3百万円となり、営業利益は、前年同期に比べ5.0% (1億4千7百万円) 増加し30億6千9百万円となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、米国での景気回復が続くことが期待されますが、欧州の財政問題や、中国をはじめとする新興国経済の減速の影響が懸念されるなど、先行きは不透明です。また、国内におきましても、海外景気の下振れの影響が懸念されるなど、予断を許さない状況にあります。

当社グループの主力製品の中にも、市況や原料価格の変動などの影響を大きく受けるものがあります。また、当社グループの売上の7割強が海外売上であり、為替の変動は当社の事業に影響を与えるとともに、海外子会社の業績を日本円に換算する際に影響を及ぼします。

このような状況のもとで、当社グループは、世界の市場を見据え、需要の伸びを的確に捉えた販売活動を積極的に展開するとともに、世界の最適地での製造拠点の建設や既存設備の増強による事業展開を一段と加速させてまいります。さらに、生産性と品質の向上に一層注力するとともに、特長ある製品の開発や原材料の安定的な確保にも努めるなど、各事業を強化してまいります。

平成27年7月23日に発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第 21 号 平成 25 年 9 月 13 日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第 22 号 平成 25 年 9 月 13 日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第 7 号 平成 25 年 9 月 13 日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第 1 四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第 1 四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第 2 四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第 58－2 項(4)、連結会計基準第 44－5 項(4)及び事業分離等会計基準第 57－4 項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第 1 四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、上記の変更による当第 2 四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響や、当第 2 四半期連結会計期間末の資本剰余金に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	461,489	455,857
受取手形及び売掛金	292,748	288,157
有価証券	304,180	351,093
たな卸資産	276,910	281,598
その他	75,091	75,303
貸倒引当金	△10,575	△10,993
流動資産合計	1,399,846	1,441,017
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	441,123	428,700
その他(純額)	343,286	358,845
有形固定資産合計	784,409	787,545
無形固定資産		
無形固定資産	18,012	16,546
投資その他の資産		
投資その他の資産	251,433	247,364
貸倒引当金	△1,394	△1,403
投資その他の資産合計	250,038	245,961
固定資産合計	1,052,460	1,050,053
資産合計	2,452,306	2,491,071

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	120,694	118,700
短期借入金	6,825	8,028
未払法人税等	33,554	37,480
引当金	3,235	3,045
その他	134,537	119,448
流動負債合計	298,846	286,702
固定負債		
長期借入金	7,116	5,730
引当金	266	268
退職給付に係る負債	33,401	35,176
その他	99,964	97,642
固定負債合計	140,748	138,817
負債合計	439,594	425,519
純資産の部		
株主資本		
資本金	119,419	119,419
資本剰余金	128,572	128,555
利益剰余金	1,626,873	1,682,261
自己株式	△33,837	△33,766
株主資本合計	1,841,029	1,896,469
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,349	18,164
繰延ヘッジ損益	△91	590
為替換算調整勘定	100,425	99,160
退職給付に係る調整累計額	△3,382	△2,520
その他の包括利益累計額合計	119,300	115,394
新株予約権	139	317
非支配株主持分	52,242	53,370
純資産合計	2,012,711	2,065,551
負債純資産合計	2,452,306	2,491,071

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	603,727	645,836
売上原価	444,124	466,661
売上総利益	159,603	179,175
販売費及び一般管理費	61,988	69,358
営業利益	97,614	109,816
営業外収益		
受取利息	1,757	1,913
受取配当金	1,095	2,402
その他	5,210	4,498
営業外収益合計	8,062	8,814
営業外費用	4,536	5,610
経常利益	101,141	113,020
税金等調整前四半期純利益	101,141	113,020
法人税、住民税及び事業税	33,049	40,344
法人税等調整額	△237	△5,040
法人税等合計	32,811	35,304
四半期純利益	68,329	77,716
非支配株主に帰属する四半期純利益	739	1,082
親会社株主に帰属する四半期純利益	67,589	76,633

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	68,329	77,716
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,609	△4,221
繰延ヘッジ損益	△296	681
為替換算調整勘定	△27,341	△1,303
退職給付に係る調整額	217	855
持分法適用会社に対する持分相当額	△71	76
その他の包括利益合計	△22,882	△3,911
四半期包括利益	45,447	73,805
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	45,532	72,727
非支配株主に係る四半期包括利益	△85	1,077

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	101,141	113,020
減価償却費	46,389	50,999
受取利息及び受取配当金	△2,852	△4,315
売上債権の増減額 (△は増加)	△16,991	5,370
たな卸資産の増減額 (△は増加)	17,500	△4,779
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,931	△2,688
その他	996	23,241
小計	151,114	180,849
利息及び配当金の受取額	3,459	4,994
利息の支払額	△307	△216
法人税等の支払額	△37,584	△36,585
営業活動によるキャッシュ・フロー	116,681	149,041
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の純増減額 (△は増加)	△55,670	△44,070
有形固定資産の取得による支出	△34,945	△76,252
投資有価証券の取得による支出	△402	△1,146
投資有価証券の売却及び償還による収入	67	5,133
その他	△4,420	△12,094
投資活動によるキャッシュ・フロー	△95,371	△128,430
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△952	33
長期借入金の返済による支出	△135	△232
配当金の支払額	△21,284	△21,294
その他	△52	△361
財務活動によるキャッシュ・フロー	△22,425	△21,855
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,075	△1,137
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,191	△2,382
現金及び現金同等物の期首残高	362,560	423,846
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	-	167
現金及び現金同等物の四半期末残高	356,368	421,632

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

報告セグメントの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

1. 当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	塩ビ・ 化成事業	シリコーン 事業	機能性 化学品事業	半導体 シリコン事業	電子・機能 材料事業	その他 関連事業	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	220,606	95,132	59,747	126,100	94,855	49,393	645,836	—	645,836
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,635	2,830	6,625	2	4,126	34,761	49,981	(49,981)	—
計	222,242	97,962	66,373	126,102	98,982	84,154	695,818	(49,981)	645,836
セグメント利益 (営業利益)	23,929	20,557	9,892	27,032	25,072	3,069	109,553	263	109,816

(注)セグメント間取引消去によるものです。

2. 前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	塩ビ・ 化成事業	シリコーン 事業	機能性 化学品事業	半導体 シリコン事業	電子・機能 材料事業	その他 関連事業	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	213,003	86,088	54,045	111,426	90,896	48,267	603,727	—	603,727
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,033	2,946	5,974	1	3,775	30,918	45,650	(45,650)	—
計	215,037	89,035	60,020	111,428	94,671	79,186	649,378	(45,650)	603,727
セグメント利益 (営業利益)	28,637	18,311	7,321	16,276	24,146	2,922	97,615	(0)	97,614

(注)セグメント間取引消去によるものです。

各セグメントに属する主要製品・サービス

セグメント	主要製品・サービス
塩ビ・化成事業	塩化ビニル樹脂、か性ソーダ、メタノール、クロロメタン
シリコーン事業	シリコーン
機能性化学品事業	セルロース誘導体、金属珪素、ポパール、合成性フェロモン
半導体シリコン事業	半導体シリコン
電子・機能材料事業	希土類磁石(電子産業用・一般用)、半導体用封止材、LED用パッケージ材料、 フォトレジスト、マスクブランクス、合成石英製品、液状フッ素エラストマー、ペリクル
その他関連事業	樹脂加工製品、技術・プラント輸出、商品の輸出入、エンジニアリング

補足資料：四半期業績の推移

(単位：億円)

	2015年3月期					2016年3月期		
	第1四半期 2014年 4-6月	第2四半期 2014年 7-9月	第3四半期 2014年 10-12月	第4四半期 2015年 1-3月	通期	第1四半期 2015年 4-6月	第2四半期 2015年 7-9月	上期累計
売上高	2,945	3,091	3,258	3,260	12,555	3,140	3,317	6,458
塩ビ・化成品	1,028	1,101	1,245	1,151	4,526	1,028	1,177	2,206
シリコン	420	440	443	470	1,774	468	483	951
機能性化学品	272	268	292	291	1,123	297	300	597
半導体シリコン	544	569	574	611	2,300	626	634	1,261
電子・機能材料	449	459	459	466	1,835	485	463	948
その他関連	230	252	243	269	995	234	259	493
営業利益	486	489	424	452	1,853	514	584	1,098
塩ビ・化成品	140	146	115	101	502	106	133	239
シリコン	91	92	※ 48	102	334	102	103	205
機能性化学品	39	33	37	42	152	47	51	98
半導体シリコン	78	83	98	94	356	118	151	270
電子・機能材料	120	121	115	105	462	123	127	250
その他関連	15	13	9	9	48	13	17	30
経常利益	495	516	513	454	1,980	550	580	1,130
親会社株主に帰属する 当期純利益	329	346	324	285	1,286	376	390	766
減価償却費	226	237	241	263	969	254	255	509
設備投資	138	249	221	489	1,099	244	304	549
研究開発費	103	120	116	131	471	138	152	290
海外売上高	2,064	2,203	2,387	2,387	9,043	2,289	2,476	4,765
連結売上高に 占める割合	70%	71%	73%	72%	72%	73%	75%	74%

※ 減損損失46億円を計上。

(注) 本補足資料における記載金額は、億円未満を切捨てにより表示しております。